

事前評価個表

| | |
|------|---|
| 整理番号 | 5 |
|------|---|

| | | | |
|---------|--------------------------------------|--------|---------------------------------|
| 地域（地区）名 | <small>きたかみがわじょうりゅう</small> 北上川上流 | 事業名 | 森林環境保全整備事業 |
| 計画策定主体 | 岩手県 | 対象市町村 | <small>もりおか</small> 盛岡市ほか5市町 |
| 事業実施期間 | R3年度～R7年度（5年間） | 事業実施主体 | 県、市町、森林組合、森林所有者等 |

| | |
|----------|--|
| 事業の概要・目的 | <p>本地区は、県のほぼ中央部に位置しており、東は北上高地、西は奥羽山脈で秋田県と接し、その中間に北上川流域の平坦部地を有する2市4町を包括する地域である。</p> <p>本地区の森林面積は164千ha（森林率70%）、対象民有林は102千ha（森林全体の62%）、うち人工林は45千ha（人工林率44%）となっている。</p> <p>人工林の齢級構成は、Ⅷ～Ⅻ齢級が全体の54%を占めており、森林資源は成熟しつつある一方で、間伐が必要なⅣ～Ⅹ齢級の森林が40%を占めており、健全な森林を育成していく上でも間伐等の森林整備が必要となっている。</p> <p>しかしながら、近年、林業採算性の低下や森林所有者の経営意欲の減退により、手入れが遅れた森林が増加するなど、森林の有する水源涵養等の公益的機能の発揮に支障をきたすおそれがある。</p> <p>このため、北上川上流地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づき、意欲と実行力を有する林業事業者等による、集約化された計画的な森林施業の実施を促進する必要がある。</p> <p>具体的には、本計画に基づき、本事業による効率的な施業に不可欠な森林作業道の開設と搬出間伐や再造林等の森林整備を一体的・計画的に実施する。</p> |
| 事業内容・事業費 | <p>森林整備：5,790ha</p> <p style="text-align: center;">人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、間伐等</p> <p>総事業費：2,289,529千円（税抜き 2,081,390千円）</p> |
| 費用便益分析結果 | <p>$B/C = 6.05$</p> <p>（総便益（B）=23,304,924千円、総費用（C）=3,853,349千円）</p> |
| 評価結果 | <p>必要性：本地区は、間伐が必要な齢級の森林が4割を占めており、間伐等の森林施業を適切に行うことが求められているとともに、集約化を行い計画的な森林施業による林業採算性の向上等を図っていくことも求められていることから、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用対効果の分析結果から、十分な経済性・効率性が認められる。</p> <p>有効性：計画的な森林整備により水源涵養や県土保全等の機能の確保に加え、森林作業道の開設等により間伐材の搬出量の増加も図られることから、事業の有効性が認められる。</p> |

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林整備事業

都道府県名：岩手県

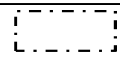


地域(地区)名：^{きたかみがわじょうりゅう}北上川上流

(単位：千円)

| 大 区 分 | 中 区 分 | 評価額 | 備 考 |
|-----------|--|------------|-----|
| 水源涵養便益 | 洪水防止便益 | 5,477,969 | |
| | 流域貯水便益 | 1,709,948 | |
| | 水質浄化便益 | 6,218,638 | |
| 山地保全便益 | 土砂流出防止便益 | 5,813,482 | |
| 環境保全便益 | 炭素固定便益 | 1,707,006 | |
| 木材生産等便益 | 木材生産確保・増進便益 | 2,377,881 | |
| 総 便 益 (B) | | 23,304,924 | |
| 総 費 用 (C) | | 3,853,349 | |
| 費用便益比 | $B \div C = \frac{23,304,924}{3,853,349} = 6.05$ | | |

森林環境保全整備事業 北上川上流流域(岩手県)概要図



| 凡例 | |
|---|--------|
|  | 森林計画区界 |
|  | 事業区域 |
|  | 森林整備 |